

(2) 専門科目

科目名	農業概論			専門科目	時期	1学年前期		
講師	水田経営学部長、園芸学部長、畜産学部長				教室	502教室		
単位数	2	時間数	30	講義	コマ数	15	区分	必修
科目目標	作物、園芸、畜産の基礎知識と栽培・飼育について学習する。また、本県の農業の現状や概況について学習する。							
科目内容	単元			授業内容				
	1. 作物分野			(1) 作物分類と食用作物の生産状況 (2) 作物の特性と作物生産 (3) イネ・ムギ・ダイズの栽培と利用				
	2. 園芸分野			(1) 本県園芸の現状と今後の方向 (2) 園芸の特徴と分類 (3) 園芸作物の基礎知識				
	3. 畜産分野			(1) 畜産の役割と動向 (2) 家畜の基礎知識 (3) 飼料生産とふん尿処理について				
使用教材	「新版 作物栽培の基礎」(農山漁村文化協会)、ならびに講師が配布する資料 【参考図書】「新版 家畜飼育の基礎」(農山漁村文化協会)							
評価方法	出席率70%以上の学生に対し、受講態度及び試験・レポート等で評価する。							
講義日程	【作物】	4/12(金)2校時	4/17(水)2校時	4/23(火)2校時	4/30(火)3校時	5/16(木)4校時		
	【園芸】	4/16(火)1校時	5/1(水)4校時	5/13(月)3校時	6/10(月)3校時	6/19(水)3校時		
	【畜産】	4/12(金)3校時	4/17(水)3校時	4/23(火)3校時	5/1(水)3校時	5/16(木)3校時		

科目名	アグリビジネス論			専門科目	時期	1学年前・後期		
講師	紺野あけみ氏 (POP広告クリエイター)、木須紀子氏 (キャリアデザイン実践研究所代表) を実務経験者として招聘 県観光課職員、アグリビジネス学部長				教室	502教室、講堂、食実験室 農産加工棟		
単位数	2	時間数	60	講義・実習	コマ数	30	区分	必修
科目目標	アグリビジネス(農業関連事業)の内容や取り組み方を理解し、事業を展開する上で必要な基本的知識を習得し、農産物の付加価値づくりを農産加工実習や直売所の開設・運営の実践を通して理解する。							
科目内容	単元			授業内容				
	1. 農産物の付加価値づくり			(1)アグリビジネスと農業経営 (2)農業の6次産業化				
	2. 農産加工実習			(1)食品加工・販売と関係法令、遵守事項 (2)農産加工実習(米粉パン他)				
	3. 農産物直売所開設・運営実習			(1)直売所の開設と運営 (2)ポップを活用した商品PR法 (3)販売価格設定・市況調査、接客方法				
	4. マーケティング演習			(1)消費者ニーズの把握とマーケティング戦略 (2)流通の概念と農産物流通の特色				
使用教材	講師が配布する資料							
評価方法	出席率80%以上の学生に対し、受講態度及び試験・レポート等で評価する。							
講義日程	一部、4班(A班、B班、C班、D班)に分けて実施する。							

科目名	農学基礎実習			専門科目	時期	1学年前・後期		
講師	農業大学校教務部職員				教室	ほ場、502教室、講堂		
単位数	3	時間数	105	講義・実習	コマ数	52	区分	必修
科目目標	農作物栽培や家畜飼育に必要な基礎的知識・技術及び管理機操作の基本を体得する。 また、プロジェクト学習法により課題解決能力を養う。							
科目内容	単元			授業内容				
	1. 農学基礎			(1)プロジェクト学習の進め方・プロジェクトテーマ設定 (2)実験・実習器具の取扱い (3)栽培研究(ほ場作り、播種、灌水、除草、施肥、収穫等) (4)調査・分析について (5)プロジェクトまとめ (6)プロジェクト学習発表会				
使用教材	講師の配付する資料							
評価方法	出席率80%以上の学生に対し、受講態度及び試験・レポート等で評価する。							
講義日程	一部、4班(A班、B班、C班、D班)に分けて実施する。							

科目名	農業機械基礎			専門科目	時期	1学年前・後期		
講師	農業大学校教務部職員				教室	502教室、ほ場 等		
単位数	1	時間数	30	演習	コマ数	15	区分	必修
科目目標	農業機械の作業方法及び安全知識等に関する学習を通して、農業機械の効率的な利用を図る能力及び安全な操作技術を身につける。							
科目内容	単元			授業内容				
	1. 農業機械利用の意義、事故防止			(1)農業機械概論(講義)				
	2. 農作業機械の取り扱い I			(1)刈り払い機の安全な使用と取り扱い実習				
	3. 農業機械の取り扱いと農作業安全			(1)トラクターの基本操作、農作業安全				
	4. 農業機械の利用と点検			(1)トラクターの点検整備とロータリー脱着等				
	5. 農作業機械の取り扱い II			(1)トラックへの積み下ろしとロープ等による固定、トラクターの耕耘実習				
使用教材	講師の配布する資料、【参考図書】「新版 農業機械の構造と利用」(農山漁村文化協会)							
評価方法	出席率70%以上の学生に対し、受講態度及び試験等で評価する。							
講義日程	4班(A班、B班、C班、D班)に分けて実施する。							

科目名	スマート農業			専門科目	時期	1学年前期				
講師	農業大学校教務部職員				教室	502教室				
単位数	1	時間数	15	講義	コマ数	7	区分	必修		
科目目標	農業の労働力不足や大規模経営等に対応するために必要なスマート農業について現状を理解するとともに今後の活用等について学習する。									
科目内容	単元			授業内容						
	1. 日本の農業の課題 2. スマート農業研究と実用化の現状 3. 農業データ連携基盤(WAGRI) 4. スマート農業の実証 5. 今後のスマート農業の展開			(1)日本の農業が抱える課題 (1)スマート農業の方法と期待される効果 (1)農業分野におけるデータの連携・活用 (1)スマート農業の活用事例等 (1)スマート農業の今後の取組の方向						
使用教材	「スマート農業のきほん」(誠文堂新光社)、講師の配布する資料									
評価方法	出席率70%以上の学生に対し、受講態度及び試験・レポート等で評価する。									
講義日程	6/11(火)	4校時	7/5(金)	3～4校時	7/12(金)	1校時	7/16(火)	3～4校時	7/26(金)	3校時

科目名	アントレプレナー講座Ⅰ			専門科目	時期	1学年前・後期				
講師	インテラック東北イノベーションセンター センター長 佐々木大氏				教室	502教室				
単位数	1	時間数	15	講義	コマ数	7	区分	必修		
科目目標	アントレプレナーとは自らが一步を踏み出す「起業家人材」を指す。本講座をとおして、将来、農業経営者に必要とされる起業家精神・資質・能力を磨き、起業・経営に直結するマインド(考え方)を醸成することを目的とする。									
科目内容	単元			授業内容						
	1. アントレプレナーシップについて			(1)なぜアントレプレナーシップが重要なのか? (2)社会課題解決を通じたアントレプレナーシップ (3)デザイン思考を活用したアプローチについて						
	2. 課題定義の重要性			(1)課題の絞り込みと課題定義の重要性について (2)フィールドワークに向けた準備						
	3. アイデア創出と新結合			(1)新結合を意識したアイデア創出ワーク (2)最終発表に向けたプレゼン準備						
	4. 最終発表&フィードバック			(1)グループごとの最終発表 (2)採点とフィードバック						
使用教材	講師が配布する資料									
評価方法	出席率70%以上の学生に対し、受講態度及び試験・レポート等で評価する。									
講義日程	6/13(木)	3～4校時	9/5(木)	1～2校時	1/8(水)	4校時				
	【CD班】	10/16(水)	1～2校時	【AB班】	11/26(火)	1～2校時				

科目名	大型トラクター免許			専門科目	時期	1学年前・後期		
講師	農業大学校教務部職員				教室	トラクター運転コース 等		
単位数	1	時間数	45	実習	コマ数	22	区分	選択
科目目標	大型特殊自動車免許(農耕用車限定)取得のための操作技術を習得する。							
科目内容	単元			授業内容				
	1. 大型トラクターの運転基本操作			(1)道路運送車両法と道路交通法による特殊車両の区分 (2)ハンドル、アクセル、ブレーキ、クラッチ等の具体操作 (3)スピード走行				
2. 免許取得にむけた総合演習			(1)トラクター運転コースの走行 (2)実技模擬試験 (3)免許センター実技試験					
使用教材	講師の配布する資料、【参考図書】「新版 農業機械の構造と利用」(農山漁村文化協会)							
評価方法	出席率90%以上の学生に対し、受講態度及び受験結果で評価する。							
講義日程	4班(A班、B班、C班、D班)に分けて実施する。 ※時間割にない2コマは空いている時間等での補講で対応							

科目名	農業簿記基礎			専門科目	時期	1学年後期				
講師	前田 幸仁 氏 仙台大原簿記情報公務員専門学校職員・実務経験者として招聘				教室	502				
単位数	2	時間数	60	演習	コマ数	30	区分	必修		
科目目標	簿記の必要性・重要性を認識し、農業会計の基礎を理解する。全経簿記3級商業簿記の取得を目指す。									
科目内容	単元			授業内容						
	1. 農業簿記の概要			(1)農業簿記の意義と目的						
	2. 簿記一巡の手続き			(1)簿記一巡の手続き、取引の記録方法						
	3. 勘定科目			(1)農業簿記の勘定科目、農業経営と勘定科目						
	4. 収益・費用の記帳方法			(1)収益と費用、農業特有の会計処理						
	5. 流動資産・流動負債など			(1)流動資産、流動負債、固定負債、資本金						
	6. 固定資産			(1)有形固定資産						
	7. 決算書の作成			(1)決算書作成までの手順、決算の具体的手続き						
8. 演習			(1)過去問を使用した実戦形式の演習							
使用教材	「農業簿記検定 教科書3級」(大原出版) / 「農業簿記検定 問題集3級」(大原出版) 「全経 簿記能力検定試験最新過去問題集 3級」(全国経理教育協会)									
評価方法	出席率80%以上の学生に対し、受講態度及び試験・レポート等で評価する。									
講義日程	11/20(水)	1～2校時	12/13(金)	1～2校時	12/16(月)	1～2校時	12/17(火)	1～2校時	12/18(水)	1～2校時
	1/8(水)	1～2校時	1/10(金)	1～2校時	1/14(火)	1～2校時	1/16(木)	3～4校時	1/27(月)	1～2校時
	1/29(水)	1～2校時	1/30(木)	3～4校時	2/10(月)	1～2校時	2/12(水)	1～2校時	2/14(金)	1～2校時

科目名	先進農業体験学習			専門科目	時期	1学年前・後期			
講師	農業大学校教務部職員				教室	502教室、503教室 体験学習先農家 ほか			
単位数	11	時間数	420	講義・演習・実習	コマ数	210	区分	必修	
科目目標	先進的な農業経営を営む農業者のもとで高度な生産技術、経営管理の実際と考え方を学び、農業及び農家生活に対する理解とたくましい人生観を培う。								
科目内容	単元			授業内容					
	1. 体験学習に向けて			(1)体験学習への心構えと学習計画 (2)先輩の体験談					
	2. 農業改良普及センター訪問			(1)管内農業の現状把握 (2)農業改良普及センターの業務把握					
	3. 先進農家での体験学習			(1)農家の生産技術、経営管理や経営方針を知る (2)農業経営や農村社会の実態把握 (3)農業施設等の調査					
4. 学習内容の発表			(1)学習内容のまとめ (2)学習内容の発表						
使用教材	講師が配布する資料								
評価方法	体験学習を終了した学生に対し、学習態度、提出物、発表内容等で評価する。								
講義日程	講義	4/15(月)1校時	4/19(金)1～2校時	4/25(木)3～4校時	4/30(火)1校時	7/22(月)1～2校時	8/19(月)1校時	10/15(火)1校時	10/17(木)1～2校時
		11/7(木)1～2校時	11/8(金)1～2校時	11/18(月)1～2校時	11/19(火)2～3校時	11/20(水)3～4校時	11/21(木)1～4校時		
	普及センター訪問	4/26(金)2～3校時	7/30(火)2～3校時						
	体験学習期間	開始式 9/9(月)			～	終了式 10/11(金)		発表会	

科目名	危険物取扱者講座			専門科目	時期	1学年前期				
講師	農業大学校教務部職員				教室	502教室				
単位数	1	時間数	15	講義	コマ数	7	区分	選択		
科目目標	物理学と化学の基礎知識を学ぶとともに、危険物取扱者(乙4類)の資格取得を目指す。									
科目内容	単元			授業内容						
	1. 基礎物理・基礎化学			(1)物質の三態 (2)熱 (3)一般化学、無機化学、有機化学						
	2. 燃焼と消火			(1)燃焼 (2)消火						
	3. 危険物の性質と火災予防			(1)危険物 (2)危険物各級の性質 (3)第4級の危険物						
4. 危険物に関する法令										
使用教材	「乙4類 危険物取扱者受験教科書」(向学院)									
評価方法	出席率70%以上の学生に対し、受講態度及び試験・レポート等で評価する。									
講義日程	4/17(水)	1校時	5/2(木)	1校時	5/10(金)	3校時	6/14(金)	1～2校時	6/21(金)	1～2校時

科目名	GAP講座				専門科目	時期	1学年後期		
講師	手塚 康博 氏 集落営農組織なかのめファーム代表をGAPコンサルタント実務経験者として招聘				教室	502教室			
単位数	1	時間数	15	講義	コマ数	7	区分	必修	
科目目標	GAPの考え方や仕組み、内容を理解し、ケーススタディーを交えながらJGAPの管理点、適合基準を理解する。								
科目内容	単元				授業内容				
	1. GAP概論 I				(1)GAPの基礎とその必要性				
	2. GAP概論 II				(1)国内外のGAPを取り巻く状況				
	3. 食品安全と労働安全				(1)栽培工程管理等				
	4. リスク評価と対策				(1)リスク評価と記録				
	5. 環境保全と労務管理、経営管理				(1)周辺環境への配慮及び地域社会との共生等				
	6. 視察研修				(1)JGAP認証法人の視察見学				
使用教材	講師が配布する資料								
評価方法	出席率70%以上の学生に対し、受講態度及び試験・レポート等で評価する。								
講義日程	講義	10/17(木)	3～4校時	10/18(金)	1～3校時				
	視察	12/2(月)	1～2校時						

科目名	作物保護				専門科目	時期	1学年後期		
講師	宮城大学食産業学部 教授 中村 茂雄 氏 宮城大学食産業学部 教授 中村 聡 氏				教室	502教室			
単位数	1	時間数	15	講義	コマ数	7	区分	選択	
科目目標	主要農産物の各種病害虫や雑草による被害の診断手法と農薬による防除方法に関する知識を習得する。								
科目内容	単元				授業内容				
	1. 水田及び畑の主要雑草				(1)雑草の生態やそれが農業にもたらす影響				
	2. 除草剤や耕種的雑草防除				(1)それぞれの作用機構と利用の仕方				
	3. 普通作物の主要病害虫と対策				(1)主要病害虫とその防除対策				
	4. 園芸作物の主要病害虫と対策				(1)主要病害虫とその防除対策				
	5. 農薬の種類と適正使用				(1)農薬の種類と作用機構、その適正使用 (2)ポジティブリスト制度				
使用教材	「図解でよくわかる病害虫のきほん」(誠文堂新光社)								
評価方法	出席率70%以上の学生に対し、受講態度及び試験・レポート等で評価する。								
講義日程	8/26(月)	1～2校時	8/27(火)	1～2校時	8/28(水)	1～2校時	8/29(木)	3校時	

科目名	生物工学			専門科目	時期	1学年後期			
講師	農業・園芸総合研究所園芸環境部職員、古川農業試験場 作物育種部職員、農業大学校畜産学部職員				教室	502教室			
単位数	1	時間数	15	講義	コマ数	7	区分	選択	
科目目標	バイオテクノロジーの基礎知識・技術及び農業における活用状況について学ぶ。								
科目内容	単元			授業内容					
	1. バイオテクノロジーの歴史と現状								
	2. 植物バイオテクノロジーの基礎知識								
	3. 本県における試験研究の現状			(1)農業・園芸総合研究所の試験研究の現状 (2)古川農業試験場の試験研究の現状 (3)畜産試験場の試験研究の現状					
4. 農業における活用事例									
使用教材	講師が配布する資料								
評価方法	出席率70%以上の学生に対し、受講態度及び試験・レポート等で評価する。								
講義日程	講義	10/15(火)	3校時	1/9(木)	2校時	1/17(金)	1校時		
	視察	12/4(水)	1～3校時	12/9(月)	1校時				

科目名	農業経営			専門科目	時期	1学年前期				
講師	農業大学校教務部職員				教室	502教室				
単位数	1	時間数	15	講義	コマ数	7	区分	選択		
科目目標	先進的な農業経営を行う上で必要な基礎知識・理論を学ぶ。また、経営計画の樹立に必要な知識などを習得する。									
科目内容	単元			授業内容						
	1. 農業経営の目的			(1)農業を取り巻く内的環境, 外的環境						
	2. 販売戦略			(1)農畜産物を高く売る仕組み, 低コスト生産の工夫						
	3. 経営形態			(1)家族経営, 集落営農, 農業法人等の特徴						
	4. 販売と流通			(1)農畜産物の集荷, 流通, 消費の仕組み						
	5. 農業政策			(1)農業経営をサポートする関係機関と役割						
	6. 農業金融			(1)資金繰りと制度資金の活用						
7. 経営分析			(1)経営指標に基づく経営改善の手法							
使用教材	講師が配布する資料									
評価方法	出席率70%以上の学生に対し、受講態度及び試験・レポート等で評価する。									
講義日程	4/17(水)	4校時	4/23(火)	1校時	4/30(火)	4校時	5/13(月)	4校時	6/10(月)	4校時
	6/21(金)	4校時	7/3(水)	1校時						

科目名	国際農業				専門科目	時期	1学年後期				
講師	宮城大学食産業学部 教授 三石 誠司 氏					教室	502教室				
単位数	1	時間数	15	講義	コマ数	7	区分	選択			
科目目標	現代社会における食料生産基盤としての農業の動向を理解するとともに、国際的に見た農産物の流通や諸外国の動向を通じて、日本農業を含めた世界の将来像を理解する。										
科目内容	単元				授業内容						
	1. 世界の食料事情と課題				(1)食料・農業をめぐる世界的状況の理解						
	2. 世界を見る視点				(1)世界の農業と食料事情を見るための基本的視点						
	3. 農業の現状と多様性・不確実性				(1)現代社会と食料・農業における多様性と不確実性						
	4. 事例:アメリカの食品マーケティングシステム				(1)アメリカの食料生産システムで何が起きているか						
	5. 事例:穀物需給と国際取引				(1)世界と日本の穀物需給, 穀物取引						
	6. 技術とイノベーション				(1)科学技術と社会:遺伝子組換え作物を素材に						
	7. 起こりつつある変化と将来展望				(1)食料と農業の将来をどう考えるか						
使用教材	講師が指示・紹介する書籍等										
評価方法	出席率70%以上の学生に対し、受講態度及び試験・レポート等で評価する。										
講義日程	10/15(火)	4校時	11/19(火)	1校時	12/5(木)	1校時	12/17(火)	4校時	1/9(木)	1校時	
	1/16(木)	1校時	1/30(木)	1校時							

科目名	土壌肥料				専門科目	時期	1学年後期				
講師	農業大学校園芸学部長					教室	502教室				
単位数	1	時間数	15	講義	コマ数	7	区分	選択			
科目目標	土壌及び肥料に関する基礎知識を習得し、作物栽培上必要な施肥、土壌改良法等について学習する。										
科目内容	単元				授業内容						
	1. 作物の健全な生育と土壌環境				(1)土壌の役割及び種類						
	2. 土壌の化学性、物理性、生物性				(1)土壌の化学性						
					(2)土壌の物理性						
					(3)土壌の生物性						
科目内容	3. 作物の生育障害及び土壌・施肥管理				(1)生育障害の発生タイプ						
					(2)土壌改良と土壌改良資材の特性						
					(3)肥料の種類と施肥法						
科目内容	4. 土壌診断の内容と進め方				(1)土壌診断の種類と内容						
					(2)土壌診断の進め方						
使用教材	「土づくりと作物生産」(日本土壌協会)、講師が配布する資料										
評価方法	出席率70%以上の学生に対し、受講態度及び試験・レポート等で評価する。										
講義日程	8/29(木)	4校時	9/4(水)	3校時	10/31(木)	4校時	11/18(月)	4校時	12/13(金)	3~4校時	
	12/17(火)	3校時									

科目名	フォークリフト運転技能			専門科目	時期	1学年後期			
講師	(一社)建設技能教習協会職員を実務経験者として招聘				教室	502教室、トラクターコース			
単位数	1	時間数	30	演習	コマ数	15	区分	選択	
科目目標	フォークリフト(1t以上)の操縦技能を習得するために必要な教習を行う。								
科目内容	単元			授業内容					
	1. 学科教習			(1)基本操作等 (2)関係法令等 (3)オペレーターの心構え等					
2. 基礎技能			免許取得練習						
使用教材	講師が配布するテキスト								
評価方法	欠席していない学生に対し、学科試験及び実技試験で評価する。								
講義日程	2/17(月)	1～4校時	2/18(火)	1～4校時	2/19(水)	1～4校時	2/20(木)	1～3校時	
		補講	2/20(木)	4校時	2/21(金)	1～3校時			

科目名	マーケティング			専門科目	時期	2学年前期			
講師	宮城大学食産業学部 教授 川島 滋和 氏 宮城大学食産業学部 講師 紺屋 直樹 氏				教室	502教室			
単位数	1	時間数	15	講義	コマ数	7	区分	必修	
科目目標	マーケティング手法を学び、自社及び地域の農産物や商品の特徴を活かして有利に販売するための知識と技術を習得する。								
科目内容	単元			授業内容					
	1. マーケティングの基礎			(1)マーケティングとは (2)成長分野を探す (3)ニーズの探り方					
2. マーケティングの応用			(1)新製品誕生まで (2)流通経路を組み立てる (3)いくらで売るか (4)コミュニケーションの進め方						
使用教材	講師が配布する資料								
評価方法	出席率70%以上の学生に対し、受講態度及び試験・レポート等で評価する。								
講義日程	4/16(火)	3～4校時	4/19(金)	2校時	5/20(月)	3～4校時	5/24(金)	3～4校時	

科目名	アントレプレナー講座Ⅱ			専門科目	時期	R6年度入校生の2学年前期				
講師	インテラック東北イノベーションセンター センター長 佐々木大氏				教室	502教室				
単位数	1	時間数	15	講義	コマ数	7	区分	必修		
科目目標	アントレプレナーとは自らが一歩を踏み出す「起業家人材」を指す。本講座では、「アントレプレナー講座」で学んだ内容をベースとし、さらに事業の収益や持続性を意識した事業計画を策定することで、将来の農業経営や起業に役立つ下地を築くことを目的とする。									
科目内容	単元			授業内容						
	1. 事業構築に必要な要素を学ぶ			(1) Why、Who、What、Howを考える (2) ビジョン、ミッション構築の重要性 (3) 課題設定について						
	2. アイディアの創出とビジネスモデル			(1) 課題の絞り込みとアイディア創出ワーク (2) ビジネスモデルの構築について						
	3. 収支計画と事業計画書の作成			(1) 収支計画作成ワーク (2) 事業計画書作成ワーク						
	4. 最終発表&フィードバック			(1) グループごとの最終発表 (2) 採点とフィードバック						
使用教材	講師が配布する資料									
評価方法	出席率70%以上の学生に対し、受講態度及び試験・レポート等で評価する。									
講義日程	R7年度に実施									

科目名	営農計画			専門科目	時期	2学年前期				
講師	志田 正次 氏 元JAいしのまき東松島地域本部長を実務経験者として招聘				教室	502教室				
単位数	1	時間数	30	演習	コマ数	15	区分	必修		
科目目標	営農計画の講義は、未知なる知識に触れ、習得することで「自らの営農計画(就農計画、経営計画、人生設計)」策定に活用できるノウハウを身につけると共に、農業の抱える今日的課題を考察する力を培うことを目的とする。									
科目内容	単元			授業内容						
	1. 生活設計			(1) 名著『学問のすゝめ』が説く「判断力の鍛え方」 (2) 人生の意義について考える、「諦める力」を磨く						
	2. 営農計画			(1) 営農計画例にみる生活設計の立て方 (2) 経済学入門(価格が決まるメカニズムを知る)、健全経営を目指すための予備知識 (3) SDGsという視点から捉える新しい農業像 (4) 多様な農産物流通を考える～今、ネット販売がおもしろい!～ (5) 行動経済学が明かす「人がそれを選ぶわけ」 (6) マーケティングの新たな視座「ナラティブ思考」について考える ～実証: レストラン「風と手と土」と「風手土農園」におけるナラティブへの取組み～ (7) 唯一無二の「独自ブランド」を確立するには						
使用教材	講師が配布する資料									
評価方法	出席率80%以上の学生に対し、受講態度及び試験・レポート等で評価する。									
講義日程	4/15(月)	1～2校時	5/20(月)	1～2校時	5/22(水)	1～2校時	6/3(月)	1～2校時	6/4(火)	1～2校時
	6/5(水)	1～2校時	6/24(月)	3～4校時	6/28(金)	1校時				

科目名	溶接			専門科目	時期	2学年前期			
講師	(一社)建設技能教習協会職員を実務経験者として招聘				教室	502教室 ほか			
単位数	1	時間数	30	演習	コマ数	15	区分	選択	
科目目標	溶接(ガス・アーク)技能を習得するために必要な教習を行う。								
科目内容	単元			授業内容					
	1. ガス溶接			(1)学科教習、学科試験 (2)実地教習					
2. アーク溶接			(1)学科教習、学科試験 (2)実地教習						
使用教材	講師が配布する資料								
評価方法	欠席していない学生に対し、学科試験及び実技試験で評価する。								
講義日程	アーク溶接			※R5年度入校生は、1年生で実施済み					
	ガス溶接			4/17(水)	1～4校時	4/18(木)	1～3校時		

科目名	食の安全・安心			専門科目	時期	2学年前期			
講師	農学博士 澁谷 樹氏 を実務経験者として招聘				教室	502教室			
単位数	1	時間数	15	講義	コマ数	7	区分	選択	
科目目標	高度に分業化が進んだ私たちの国では、人(自然人)は、ある面では事業者であっても、他の面では消費者でもある。とりわけ、食品に関しては、ほぼ全ての人が消費者の側面を持つ。本講では、消費者の立場から食の安全・安心に関する知識と理解を深める。								
科目内容	単元			授業内容					
	1. 食品と消費者			・市民社会の基本原則と消費者の権利 ・食品事件と消費者の権利					
	2. 食の安全を守る仕組み			・食品安全行政とその仕組み					
	3. 食品の危害要因とリスク ①			・食品のリスク分析とリスク管理 ・食中毒、食物アレルギー、食品添加物					
	4. 食品の危害要因とリスク ②			・残留農薬、遺伝子組換え食品、BSE等					
	5. 食品の表示 ①			・食品表示に関する法律、生鮮食品の表示					
	6. 食品の表示 ②			・加工食品の表示					
7. 健康食品等			・健康食品、機能性表示食品等						
使用教材	1.「これだけは知っておきたい食べものの話(改訂版)」(板倉ゆか子監修/全国消費生活相談員協会、2016年3月) 2.「入門！消費者問題の歴史」(消費者庁ウェブサイト掲載資料)								
評価方法	出席率70%以上の学生に対し、受講態度及び試験・レポート等で評価する。								
講義日程	5/24(金)	1～2校時	6/7(金)	1～2校時	6/25(火)	1～2校時	6/26(水)	3校時	

科目名	大型トラクターけん引			専門科目	時期	2学年後期		
講師	農業大学校教務部職員				教室	トラクター運転コース 等		
単位数	1	時間数	45	実習	コマ数	22	区分	選択
科目目標	トラクターのけん引免許(農耕車限定)取得のための操作技術を習得する。							
科目内容	単元			授業内容				
	1. トレーラーのけん引操作について			(1)けん引トレーラーの基本操作方法				
	2. トレーラーのけん引操作実習			(1)直線後進 (2)方向変換 (3)S字走行				
	3. トレーラーのけん引操作による総合運転			(1)トラクター運転コースの走行 (2)適性検査(深視力検査) (3)実技模擬試験 (4)免許センター実技試験				
使用教材	講師の配布する資料、【参考図書】「新版 農業機械基礎の構造と利用」(農山漁村文化協会)							
評価方法	出席率90%以上の学生に対し、受講態度及び受験の可否で評価する。							
講義日程	水田経営学部	11/14(木)	11/15(金)	11/18(月)	11/19(火)	11/20(水)	11/21(木)	
	園芸学部	9/11(水)	9/12(木)	9/13(金)	9/17(火)	9/18(水)	9/19(木)	
	畜産学部	8/29(木)	8/30(金)	9/2(月)	9/3(火)	9/4(水)	9/5(木)	
	アグリビジネス学部	8/29(木)	8/30(金)	9/2(月)	9/3(火)	9/4(水)	9/5(木)	

科目名	農業簿記演習			専門科目	時期	R6年度入校生の2学年前期		
講師	前田 幸仁 氏 仙台大原簿記情報公務員専門学校職員・実務経験者として招聘				教室	502教室		
単位数	1	時間数	30	演習	コマ数	15	区分	選択
科目目標	簿記の必要性・重要性を認識し、農業会計の基礎を理解する。農業簿記3級の取得を目指す。							
科目内容	単元			授業内容				
	1. 農業簿記の概要			(1)損益計算書、貸借対照表の作成				
	2. 簿記一巡の手続き			(1)仕訳、勘定、試算表				
	3. 収益・費用の記帳方法			(1)農業簿記特有の処理				
	4. 流動資産・流動負債など			(1)原材料、貯蔵品、仕掛品、債権債務など				
	5. 固定資産			(1)有形固定資産の取得・売却、育成仮勘定、生物の売却				
	6. 決算書の作成			(1)決算整理、精算表・財務諸表の作成				
	7. 演習			(1)過去問を使用した実戦形式の演習				
使用教材	農業簿記検定 過去問題集 3級 (最新版)							
評価方法	出席率80%以上の学生に対し、受講態度及び試験・レポート等で評価する。							
講義日程	R7年度に実施							

科目名	簿記演習				専門科目	時期	2学年前期			
講師	前田 幸仁 氏 仙台大原簿記情報公務員専門学校職員・実務経験者として招聘					教室	502教室			
単位数	1	時間数	30	演習	コマ数	15	区分	選択		
科目目標	簿記基礎を受け中規模株式会社の経営、経理の必須知識を習得する。全経簿記2級商業簿記の取得を目指す。									
科目内容	単元				授業内容					
	1. 各種取引				(1)商品売買、当座預金、手形 (2)有価証券、固定資産、引当金					
	2. 株式会社				(1)株式会社の資本構成 (2)株式の発行、剰余金の配当					
	3. 決算				(1)各種決算整理 (2)精算表、財務諸表					
	4. 本支店会計				(1)本支店会計の意義、本支店間の取引 (2)合併財務諸表の作成					
使用教材	「全経簿記能力検定試験公式問題集2級(最新版)」(ネットスクール出版)									
	「全経簿記公式2級テキスト(最新版)」(ネットスクール出版)									
評価方法	出席率80%以上の学生に対し、受講態度及び試験・レポート等で評価する。									
講義日程	4/16(火)	1～2校時	5/21(火)	1～2校時	5/22(水)	3～4校時	6/3(月)	3～4校時	6/4(火)	3～4校時
	6/24(月)	1～2校時	6/26(水)	1～2校時	6/27(木)	1校時				

科目名	海外農業研修				専攻科目	時期	2学年前・後期			
講師	農業大学校職員					教室	現地、502教室、視聴覚室など			
単位数	2	時間数	75	(演習・実習)	コマ数	38	区分	選択		
科目目標	外国の農業を直接見聞することにより、現地の革新的な技術や経営を学ぶ。また、外国の社会や文化にふれることにより、幅広い国際感覚を身に付け日本人としての教養を高める。									
科目内容	単元				授業内容					
	1. 国際感覚を身につける				(1)外国の文化を自分の目で見ることにより、日本では知り得ない本物の価値を味わう。					
	2. 事前学習				(1)視察先の事前調査(地理、気候、農業等) (2)簡単な語学学習(日常会話、専門用語) (3)ファームステイについて(自己紹介文作成)					
	3. 視察研修				(1)ファームステイ(交流、体験研修) (2)教育施設、農場・加工場等の視察					
使用教材	講師が配布する資料									
評価方法	事前学習の受講態度、研修態度、報告書等により評価する。									
講義日程	演習	5/21(火)	3校時	6/25(火)	3校時	6/28(金)	2校時			
	海外農業研修	2/2(日)	2/3(月)	2/4(火)	2/5(水)	2/6(木)	2/7(金)			